

第 2 次 環 境 基 本 計 画 の 策 定 状 況

○第2次環境基本計画（案）の概要

《計画期間》

- 2018（平成 30）年度～2030（平成 42）年度
※次期一般廃棄物処理基本計画は、2018（平成 30）年度～2027（平成 39）年度

《計画の役割》

- 本市における環境保全に関する施策の方向を示す総合計画
- 環境保全対策に取り組むための共通認識を示すもの

《計画の体系》

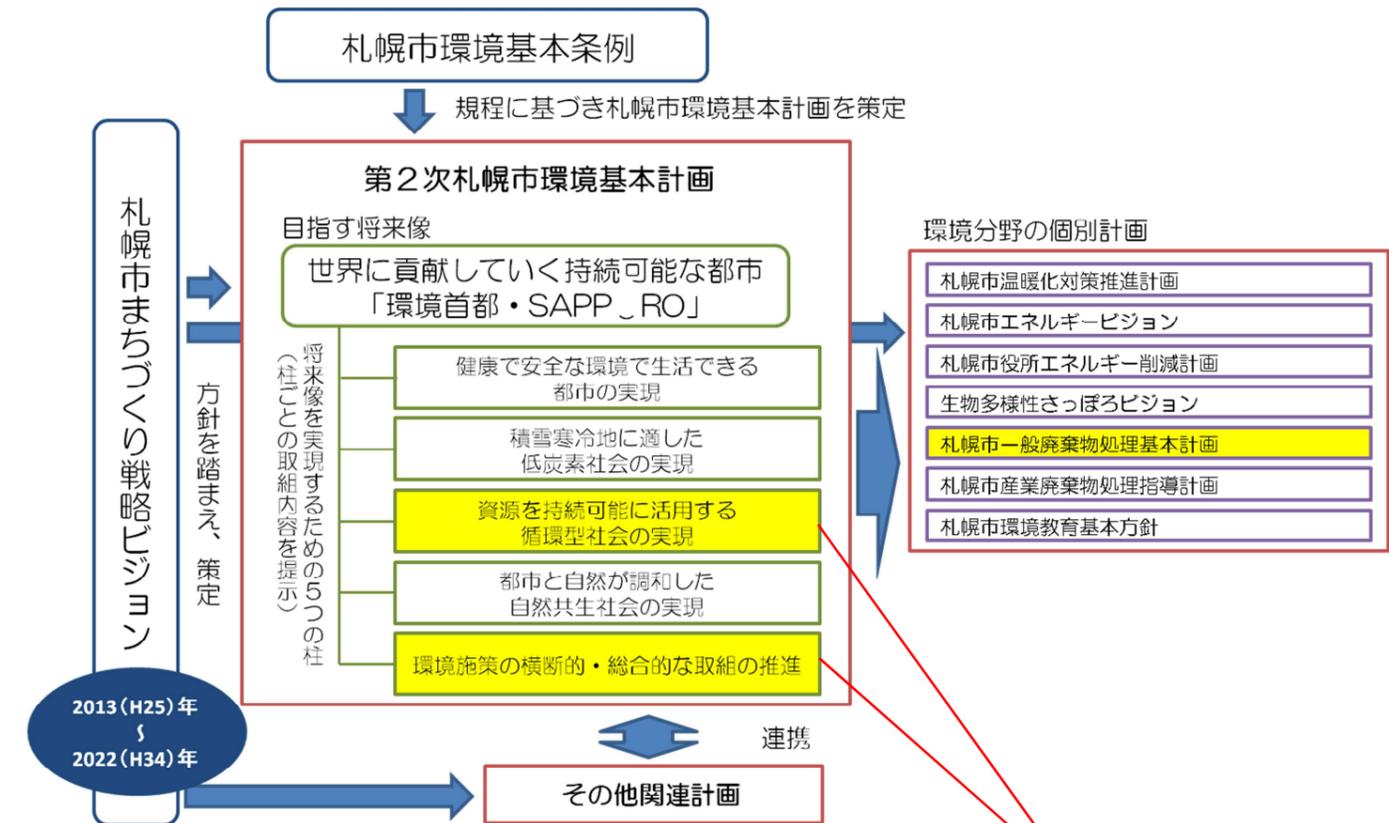
- 2050（平成 62）年の将来像（目指す姿）「世界に貢献していく持続可能な都市 環境首都 SAPP _RO」を実現するため、5つの施策の柱（右の体系図参照）を掲げて各種取組を推進

《次期計画における新たな視点》※平成 17 年現計画改定以降

- 新たに顕在化してきた生物多様性、PM2.5 等の環境問題、環境問題の解決を通じた社会課題への貢献
- 2015（平成 27）年の国連サミットで掲げられた国際社会共通の目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」※を尊重

※全世界において持続可能な社会を形成するための行動計画（指針）。気候変動やエネルギー、持続可能な生産・消費、生物多様性、教育、健康・福祉等に関する 17 のゴールと具体的な 169 のターゲットが定められおり、環境省では、17 のゴールのうち、少なくとも上記分野を含む 12 が環境に関連しているとして、国内外における施策を積極的に展開していくこととしている。

○第2次環境基本計画（案）の体系図



○策定スケジュール

	平成29年												平成30年			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一般廃棄物処理基本計画	本会議(第6回)	本会議(第7回)	本会議(第8回)	起草委員会(第1回)	起草委員会(第2回)	本会議(第9回)	答申	答申踏まえ			本会議(第10回)	報告				計画策定
環境基本計画	骨子作成	素案作成	中間答申	中間答申踏まえ	最終答申	最終答申踏まえ	答申踏まえ	報告	本会議	パブリックコメント	意見集約結果公表					計画策定
	情報共有			情報共有			整合性を取る			情報共有						

○第2次環境基本計画（案）における廃棄物関連の記載

《持続可能な社会の実現に向けた社会的動向》

- 天然資源投入量の減少や使用済製品からの有用金属回収の徹底等により、持続可能な循環型社会の構築を目指すことが重要。

《札幌市の現状と課題》

- 一般廃棄物の量はここ 10 年で大幅に減少したものの、いまだに廃棄ごみの中に資源物が混入しているため、さらなる 3R の推進が必要。
- 循環型社会の構築に向け、廃棄ごみ・資源物を合わせたごみ量全体の減量が求められる。

《施策の柱における取組内容》

- 資源を持続可能に活用する循環型社会の実現
 - 廃棄物のさらなる減量に向けた取組の推進
 - 廃棄物の適正処理及び再利用可能な廃棄物のリサイクルの推進
 - 近隣市町村との協力体制の確立や災害廃棄物の対策
- 環境政策の横断的・総合的な取組の推進
 - 環境教育の推進